

課 題 金福すいかの液体肥料葉面散布による品質向上試験

担 当 者 宮郷 明博 飯塚 憲一

目 的 近年、金福すいかの糖度不足が指摘され、品質が不安定であることが問題となっている。スイカの品質を評価する上で、糖度は重視されることから、ブランド価値を高めていくためにも糖度の向上及び安定が必要である。
そこで、糖度向上に効果があると言われている微量元素配合液体肥料（以下、「液肥」という。）の葉面散布を行い、その効果を調査する。

供 試 品 種 金福

試験区構成 1区 28株（収穫物 10個） 1区制

試 験 区 1区 有機・微量元素配合液体肥料区（サトウキビのちから水）
2区 微量元素配合高機能液体肥料区（ALA-FeSTA）
3区 無処理区

耕 種 概 要 栽培条件 施設
定 植 4月5日
栽植密度 畝幅 300cm×株間 60cm 2条植え 110本/a
仕立て方 立体栽培、3本仕立て2果採り
施 肥 量 1区 元肥 堆肥 200kg/a
粒状カルゲン 4.7kg/a
エコロング 413（70日タイプ） 7.5kg/a
過リン酸石灰 3kg/a
ようりん 3kg/a
磷硝安加里 S604（そさい3号） 1kg/a
追肥 サトウキビのちから水 15ml/a
2区 元肥 1区と同じ
追肥 ALA-FeSTA 15ml/a
3区 元肥 1区と同じ
追肥 なし
成分量 N1.2-P2.0-K1.1 kg/a
※1 元肥のうち堆肥以外は、畝内部分施用
※2 追肥は葉面散布で実施
※3 液体肥料希釈倍率は1,000倍
※4 液体肥料散布量は、1アール当たり 15L
液肥散布 5月25日、6月3日、13日
収 穫 6月16日～24日

結果及び考察

生育調査は、表1に示したとおり、全ての区でやや強めの草勢を示した。しかし、液肥を葉面散布したことでの草勢の変化はなかった。

収穫物調査は、表1に示したとおり、果実重量は1区が他の区より重く、2区と3区が同じ重量

となった。糖度は3区が他の区に比べ高く、液肥を葉面散布した1区と2区の糖度が11.5%で、無処理である3区より低い結果となった。

以上の結果から、今回使用した液肥では、金福すいかの糖度を高める効果を得ることができなかった。しかし、1区で使用した液肥については、葉面散布することで果実重量がやや重くなることから、果実肥大が悪い生産現場での活用が考えられる。

表1 生育及び収穫物調査

	草勢	収穫数量 (個)	果実重量 (kg)	果実径 (cm)		縦横比 (a/b)	糖度 (° Brix)
				縦径 : a	横径 : b		
1区	やや強め	50	1.9	15.5	14.7	1.05	11.5
2区	やや強め	44	1.7	14.2	13.2	1.06	11.5
3区	やや強め	48	1.7	14.9	14.1	1.06	12

※収穫数量：28株合計 果実重量：収穫数量平均 果実径、糖度：10個平均